

A201SJ 標準セット

User Guide 取扱説明書

はじめに

このたびは、「SoftBank A201SJ 標準セット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本装置（SoftBank A201SJ 標準セット）をご利用の前に、「取扱説明書（本書）」をご覧ください。
- IP無線機能およびIPマイクは、販売代理店によりIP無線機位置情報サービス（設定サイト）から設定することができます。設定された内容により、本書内の動作と異なる場合がありますのでご注意ください。設定内容の詳細につきましては、販売代理店にお問い合わせください。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

本装置の機器構成

SoftBank A201SJ 標準セット	
端末本体 (IP 無線機)	
付属品キット	ACC 延長ケーブル
	電源ケーブル
	IP 無線機取付ステー (車載ホルダ)

※ 端末本体 (IP無線機) にUSIMカード (別売) を取り付けて通信を行います。USIMカードについては、お買い上げの販売代理店にご相談ください。

本書の見かた



本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめ次の内容についてご了承ください。

- 「SoftBank A201SJ 標準セット」の機器構成を「本装置」と表記しています。
- 本書内に記載しているイラストや画面は、実際の形状や画面表示などと異なる場合があります。
- IPマイクなどのボタンを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

操作手順の表記について

本書ではIPマイクの設定の操作手順などにおいて、次の操作を簡略化して記載しています。

-  (スクロールボタン) による項目の選択操作
-  (決定ボタン) などを押す操作

例) 待受画面で  (Menuボタン) を押し、表示されるメニューから  (スクロールボタン) を動かして「5. 機器情報」を選択し、 (決定ボタン) で選択を確認する操作を次のように記載します。

1 待受画面で  →  で [5.機器情報] を選択 →



登録商標について

- Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

目次

はじめに

本装置の機器構成	i
本書の見かた	i
目次	ii

1 ご利用にあたって 1

機器の説明	2
設置と接続	3
各部の名称とはたらき	8
USIM カード	10

2 基礎知識／基本操作 15

主な機能	16
電源を入れる／切る	17
呼出モード	18
端末本体（IP 無線機）の通知音	20
発信／着信の動作	21

3 スピーカマイクの利用 23

スピーカマイクの各部の名称とはたらき	24
スピーカマイクの基本操作	24
呼び出して通話する	25
着信に応答して通話する	25
通話音声を録音／再生する	26

4 IP マイクの利用 27

IP マイクの各部の名称とはたらき	28
IP マイクの基本操作	29
呼び出して通話する	30

着信に応答して通話する	34
非常送信機能（RED ALERT）を利用する	36
受信メッセージを表示する	37
IP マイクのメニューを操作する	38

5 端末の設定 43

設定モードを使用する	44
WebUI を使用する	46
無線機の設定を初期化する	55

6 困ったときは 57

トラブルシューティング	58
仕様	59
端末本体（IP 無線機）の比吸収率（SAR）について	61
保証とアフターサービス	62
お問い合わせ先	63
索引	65

1 ご利用にあたって

機器の説明.....	2
設置と接続.....	3
各部の名称とはたらき	8
USIMカード.....	10

機器の説明

端末本体（IP無線機）

通話を行ううえでの音声-IP変換、スピーカ音の調整、GPS情報の取得および送信、相手局との発着信などを行います。内部にUSIMカードを挿入して使用します。ソフトバンク携帯通信網を経由して、本システムを管理するクラウドサーバーとの接続を行います。詳しくは、「端末本体（IP無線機）」（→P.8）、「USIMカード」（→P.10）および「2 基礎知識／基本操作」（→P.15）をご参照ください。

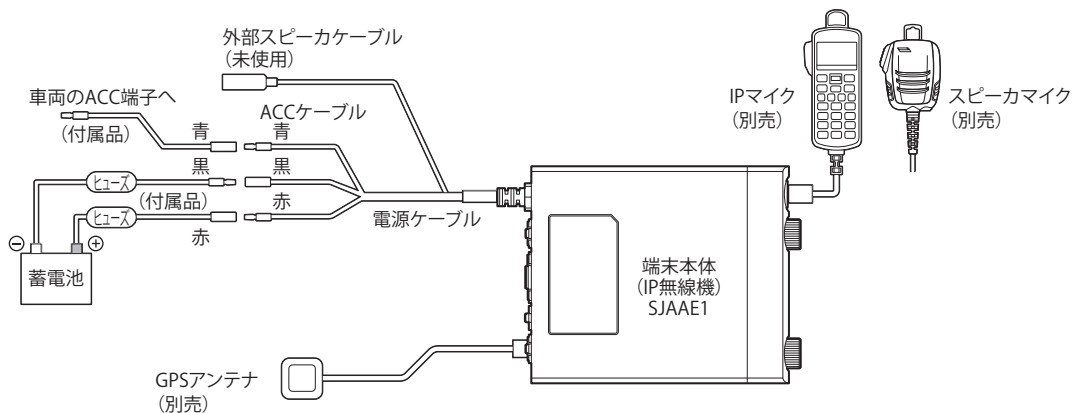
スピーカマイク／IPマイク（別売）

端末本体（IP無線機）に接続して使用します。相手局との通話や録音再生などのほか、IPマイクでは発信先の指定や状態設定、メッセージ受信などを行います。詳しくは、「3 スピーカマイクの利用」（→P.23）、「4 IPマイクの利用」（→P.27）をご参照ください。

設置と接続

本装置の取り付け・装備作業には、電源接続などで危険を伴った専門の技術が必要となります。また、取り付け・装備に伴う各種手続きなどが発生しますので、本装置を車両へ取り付け・装備する際は、必ずお買い求めの販売代理店へご相談・ご依頼ください。

接続イメージ



設置・接続工程の技術概要（工事担当者用）

■ 端末本体（IP無線機）の取り付け

- 1 付属品のIP無線機取付ステー（車載ホルダ）を車両内の平らな面に取り付ける
- 2 IP無線機取付ステー（車載ホルダ）周辺の穴4つを使って確実に取り付ける
- 3 端末本体（IP無線機）をIP無線機取付ステー（車載ホルダ）の前面から挿入し、側面のレバー（1箇所）がしっかりロックされるまで押し込む

！ ご注意

- 運転に支障のある場所は避けてください。
- 取り付け箇所の材質に注意し、付属ネジを緩みがないようしっかり締め付けてください。
- 付属ネジの締め付けが強すぎる場合は、取り付け箇所の破損に繋がる可能性があるため、注意してください。

■ マイク掛けフックの取り付け

- 1 マイクに付属する掛けフックを止めビス2個を使い、マイクの使いやすい場所に取り付けます。

！ ご注意

- 運転に支障のある場所は避けてください。
- 掛けフックはお使いのマイク専用です。マイク以外の機器に使用しないでください。

■ スピーカマイク／IPマイクの接続

- 1 マイクを端末本体（IP無線機）のマイクコネクタ（→P.8）に接続する

マイク側のコネクタの矢印を上にして、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

- 2 マイクコネクタから取り外すときは、マイク側のコネクタをまっすぐ引く

！ ご注意

- マイクを端末本体（IP無線機）に取り付けるときは、必ず端末本体（IP無線機）の電源を切った状態で接続してください。
- コネクタ接続部を故意に回転させるとコネクタ部が壊れる恐れがありますので、回転させないでください。

■ GPSアンテナの取り付け

1 GPSアンテナの接続端子を端末本体（IP無線機）背面のGPSアンテナコネクタに接続する

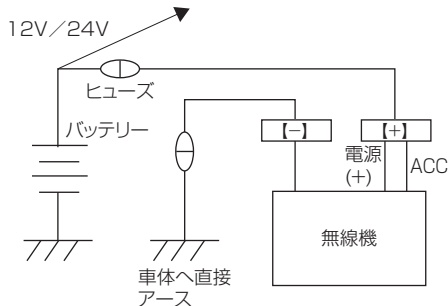
！ ご注意

- GPS アンテナは基本的に車外に設置してください。車内に設置した場合、電波を適切に受けられない場合があります。電波を受信できない場合、本システムのサービスの一部機能が使えなくなります。
- GPS アンテナの取り付けの際、ケーブルを伝って端末本体（IP無線機）に水が入らないよう配線にご注意ください。
- ビルの谷間や山間部など GPS 衛星を捕捉しにくい場所では、本装置起動時にGPS測位に数分かかることがあります。
- 車を洗車するときは、車外のGPSアンテナを取り外してください。

■ 電源の接続

- 車両の電源工事は火災などの大事故につながる危険性がありますので、お買い求めの販売代理店にお任せください。

電源はバッテリーに直接接続してください。端末本体（IP無線機）のACCケーブルは、車両のACC端子に接続してください。端末本体（IP無線機）の電源は、ACC端子に電圧が加わり、操作部の電源スイッチがつながった状態になった時点で電源が入ります。



本装置は、12V/24V車両専用に設計されています*。

* 24V車両でお使いの場合、バッテリーの中間電位点から12Vを取り出すと、バッテリーの片減りを起こして思わぬ事故の原因となりますのでおやめください。

！ ご注意

- 端末本体（IP無線機）の電源ケーブルは、赤が（+）極、黒が（-）極です。間違えて逆に配線すると、端末本体（IP無線機）の保護回路が動作し、電源ケーブルの保護ヒューズが溶断します。
- 端末本体（IP無線機）の電源ケーブル、ACCケーブル、GPSケーブルを車両のコンソール内に収容する際は、車両火災防止のため、シガレットライター後部などの発熱部から十分な距離を確保して、接触しないようご注意ください。
- 本装置には、車両内配線用に3mの電源ケーブルが付属されていますが、工事に際して、余ったケーブルを束ねて収納せず、付設の状況に合わせて必要最低限の長さで切断してください。
- 電源ケーブルを車両のバッテリーに配線する際は、付属の電源ケーブルの先端を半田上げせず、専用の圧着端子（別途購入）を圧着加工して取り付けてください。
- 端末本体（IP無線機）から出ている電源ケーブルの切断は、改造となるため絶対におやめください。
- 付属のヒューズは材料に金属類を使用しているため、アルルギー反応を引き起こす可能性があります。お取り扱いの際は十分ご注意ください。

バッテリーに電源を接続する場合は、以下の手順を守ってください。

1 車両バッテリーの（+）極および（-）極の配線を外す**2 （+）極を車両側電源ケーブルの（+）側に配線する****3 誤接続がないことを確認して（-）極を車両側電源ケーブルの（-）側に配線する****4 車両側電源ケーブルの（+）極をバッテリーの（+）極側に接続する****5 車両側電源ケーブルの（-）極をバッテリーの（-）極に接続する****！ ご注意**

- 手順を間違えると、工事中に誤って工具が車両ボディと接触した際にバッテリーをショートさせる危険性があります。必ず配線手順を守ってください。
- 端末本体（IP無線機）を車両へ実装する際は、端末本体（IP無線機）の電源ケーブルを車両バッテリーへ直接接続してください。車内ヒューズボックスあるいはシガレットライター部から配線しないでください。装置故障につながる可能性があります。
- 端末本体（IP無線機）の電源ケーブルと車両バッテリーを接続する際は、接続不良や断線などがあった場合、端末本体（IP無線機）に過度な電圧がかかり故障につながる可能性がありますので、ご注意ください。
- バス、ダンプカー、ミキサー車などの特殊車両に取り付ける際は、特殊車両の利用方法によっては端末本体（IP無線機）に過度な電圧がかかり故障につながる可能性がありますので、販売代理店にご相談ください。

■ ACCケーブルの接続

端末本体（IP無線機）側のACCケーブルと車両側のACC端子を接続すると、車両のACCオン／オフに連動して本装置の電源をON／OFFさせることができます。ただし、端末本体（IP無線機）の電源スイッチはONであることが必要です。車両側のACC端子を利用できない場合は、端末本体（IP無線機）側のACCケーブルと電源ケーブル（+）を共に車両側電源へ接続してください。

この場合、車両のACCオン／オフに連動せず、エンジンを停止させても本装置の電源はOFFになりません※。

本装置の電源ON／OFFは、端末本体（IP無線機）の電源スイッチで行います。

※ ACCケーブルを電源に接続した場合、本装置の電源を入れたままでのバッテリー上がりにご注意ください。

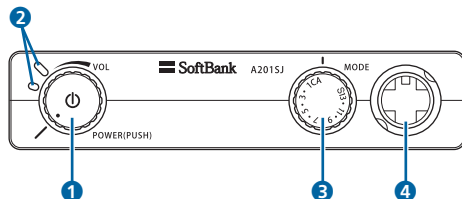
■ 車両バッテリーについて

車両のバッテリーが古くなると、電源電圧が低下してエンジン始動時やエアコン動作時などに本装置の動作が不安定になることがあります。特に発信状態では大きな電流が必要になるため、着信時と比べてバッテリー電圧は大きく低下します。次の点をご確認ください。

- バッテリーの電源電圧は規定（12V）以上ありますか？
- 電源ケーブルの端子はきちんと接続されていますか？
（端子の腐食などにより接触抵抗が増加し、電圧低下の原因となることがあります。）
- 電源ケーブルに挿入されているヒューズに異常はありませんか？
（端子の腐食などにより接触抵抗が増加し、電圧低下の原因となることがあります。）
- 指定の電源ケーブルを使用していますか？
（電源ケーブルが細いと、電源ケーブルでロスが生じ電源電圧が低下することがあります。）
- 端末本体（IP無線機）の電源はバッテリーに直接配線していますか？
（車内のヒューズボックスから配線すると、車両側のケーブルで生じるロスにより電圧が低下することがあります。）

各部の名称とはたらき

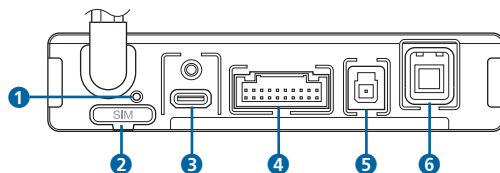
端末本体 (IP無線機)



	名称	機能
①	電源スイッチ／音量スイッチ	押して電源を入れる／切る 回して通話時の着音声の音量調節 設定モードでブザー音の音量調整 (→ P.46)
②	状態 LED	7色のLEDで状態表示 (→ P.9) 左側 (小) は無線機本体の電波状況 などを表示 右側 (大) はIP無線機能の状態を 表示
③	呼出モード スイッチ	呼出モードの切替 (16種まで設定可) A: 一斉 ※1 C: 指令局 ※1 1 ~ 13: グループ番号 ※1 13: 録音再生 ※1 (→ P.26、P.39) S: 設定モード (→ P.44)

	名称	機能
④	マイクコネクタ	IPマイク／スピーカマイクの接続

※1: IPマイク使用時は「モードスイッチ利用有無」が「ON」に設定されている場合に有効となります。



	名称	機能
①	設定初期化ボタン	長押しで無線機の設定を初期化 (→ P.55)
②	USIMカードトレイ	USIMをトレイ内部に装着 (→ P.11)
③	保守用コネクタ (未使用)	保守用途に使用
④	外部機器接続用 コネクタ	外部機器との接続に使用
⑤	保守用コネクタ (未使用)	保守用途に使用
⑥	GPSアンテナコ ネクタ	GPSアンテナとの接続に使用 (→ P.5)

■ 状態表示 (LED)

LED (大)	状態	GPS 利用有無設定	GPS LED 色設定
消灯	電源 OFF	/	/
赤点灯→ 緑点灯→ 青点灯	起動時		
赤点灯	4Gエリア接続準備		
青点灯	4Gエリア接続中+ GPS測位	ON	-
黄点灯	4Gエリア接続中+ GPS未測位※1	ON	-
黄点灯	4Gエリア接続中※2	OFF	黄
青点灯	4Gエリア接続中※2	OFF	青
赤点灯	未接続 / 圏外	ON/OFF	黄 / 青
赤点灯	USIM カード未挿入	/	/
緑点灯	通話開始 (中)		
緑点滅	呼出開始		
	一斉、強制一斉呼出		
	グループ、強制グループ呼出		
	個別呼出		
	指令局呼出		
	地域呼出		
	近隣呼出		

LED (大)	状態	GPS 利用有無設定	GPS LED 色設定
白点滅	不在着信 ※3	/	/
	メッセージ受信 ※4		
赤点滅	設定モード		
緑点滅	IP無線設定情報の更新中		
青点滅	IPマイクソフトウェアの更新中		
黄点滅	IPマイク設定情報の更新中		
青点灯	更新完了		
赤点灯	更新失敗		

※1：GPS未測位の状態とは、GPS受信不能、IP無線機GPS受信機能の故障、アンテナ故障(ケーブル抜けを含む)により発生する可能性があります。

※2：「GPS利用有無」が「OFF」に設定されているときは、LEDの色(黄/青)を選択できません。

※3：点滅時間は、「10分間」または「無制限」となります。

※4：IPマイク使用時に有効となります。

LED (小)	状態
消灯	電源 OFF
赤点灯→緑点灯 →青点灯	起動時
青点滅	4G エリア接続準備
青点灯	4G エリア接続中+ Wi-Fi 接続中
緑点灯	4G エリア接続中+ Wi-Fi 未接続
黄点灯	未接続 / 圏外+ Wi-Fi 接続中
赤点灯	未接続 / 圏外+ Wi-Fi 未接続
赤点滅	USIM カード未挿入
シアン点滅	WPS 接続開始 (中)
白点灯	設定初期化
マゼンタ点灯	IP 無線機ソフトウェアの更新中
白点灯	更新完了
赤点灯	更新失敗

USIMカード

USIMカードは、本装置を無線機として使用するためのお客様情報が登録されているICカードです。

USIMカードのお取り扱い

- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。



- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、USIMカードをご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。

- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードや端末本体（IP無線機）（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きはお問い合わせ先までご連絡ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本装置は専用USIMカードが必要です。本装置の専用USIMカードは、他の携帯電話機では使用できません。

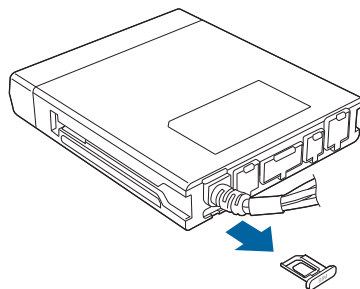
USIMカードを取り付ける

USIMカードの取り付けは、必ず電源を切った状態で行ってください。

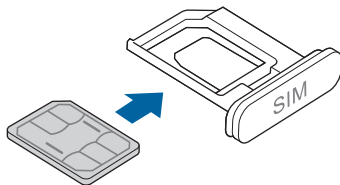
！ ご注意

- 端末本体（IP無線機）に使用できるUSIMカードのサイズはnano SIMになります。

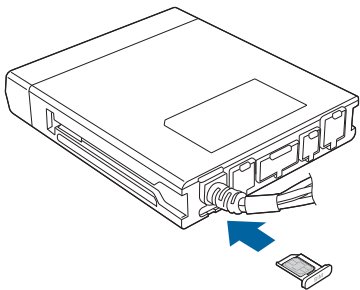
1 端末本体（IP無線機）背面にあるUSIMカードトレイを取り外す



2 USIMカードのIC部分の面を上にして、USIMカードトレイにセットする



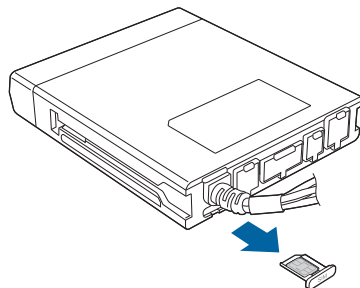
3 USIMカードトレイを端末本体（IP無線機）に取り付ける



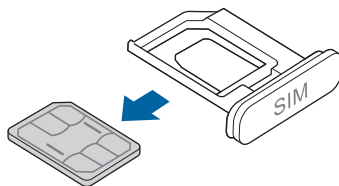
USIMカードを取り外す

USIMカードの取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

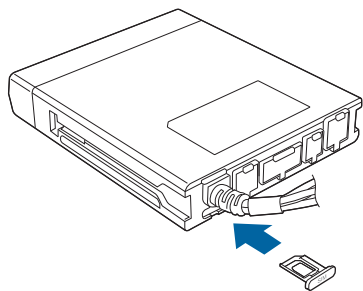
1 端末本体（IP無線機）背面にあるUSIMカードトレイを取り外す



2 USIMカードトレイからUSIMカードを取り外す



3 USIMカードトレイを端末本体（IP無線機）に取り付ける



2 基礎知識／基本操作

主な機能.....	16
電源を入れる／切る	17
呼出モード.....	18
端末本体（IP無線機）の通知音.....	20
発信／着信の動作	21

主な機能

本装置は、ソフトバンク携帯通信網を利用して、あらかじめグループとして設定されている他のIP無線機と日本国内で次のような通話や通信、機能が利用できるIP無線機です。通信環境の設定については、販売代理店で行われます。

- 一斉通話やグループ通話、個別通話など様々な方法の通話ができます。
- 番号帳や通話履歴から個別番号を選択して発信できます。
- 本装置で設定した状態内容、GPS情報を使用して、本装置の動態情報を把握することができます（オプションサービス）。

指令局と移動局について

同一グループ内のIP無線機の管理用として、任意のIP無線機を「指令局」に設定することができます。指令局以外のIP無線機を「移動局」と呼びます。

- 移動局からのグループ、強制グループ、地域、近隣呼出には、指令局も含まれます。指令局が複数ある場合は、一番若い番号の指令局が呼出対象となります。
- 移動局からのグループ、指令局、地域、近隣呼出、音声モニタでは、呼出対象となる指令局が話し中の場合、次に若い番号が自動的に呼出対象となります（指令局の転送機能「すべり」）。

- グループ、指令局、地域、近隣呼出、音声モニタでは、お申し込み時に「すべりOFF」を選択されていると、指令局が通話中の場合、指令局への接続はNGとなります。また、一斉呼出で、指令局が複数ある場合は、一番若い番号の指令局が呼出対象となります。
- 指令局では次のことが行えません。
 - 他の指令局への呼出
 - メッセージの受信
 - GPS情報の取得
 - RED ALERTの使用

電源を入れる／切る

電源を入れる

本装置は、端末本体（IP無線機）の電源を入れることでIPマイクなど装置全体が起動します。

1 端末本体（IP無線機）前面の電源スイッチを押す

端末本体（IP無線機）が起動時状態となり、起動完了後にIPマイクまたはスピーカマイクから通知音が鳴ります。その後状態LEDで状態を確認できます。

- 端末本体（IP無線機）側のACCケーブルと車両側のACC端子を接続している場合は、車両のキーを「ACC」の位置まで回す必要があります。
- IPマイクを接続している場合は、約50秒後に画面に待受画面が表示されます。
- 電源スイッチを右（時計回り）左（反時計回り）に回して音量を調整できます。

電源を切る

1 端末本体（IP無線機）前面の電源スイッチを押す

- 端末本体（IP無線機）側のACCケーブルと車両側のACC端子を接続している場合は、車両のキーを「停止（Lock／OFF）」の位置まで回すことで本装置の電源が切れます。
- IPマイクまたはスピーカマイクから通知音が鳴ります。

！ ご注意

- 端末本体（IP無線機）のLED（大）表示が青または黄色点灯（サービスエリア圏内）していることを確認してください。LED（大）表示が赤で点灯（サービスエリア圏外）または赤で点滅（設定モード中）している間は通信できません。

呼出モード

呼び出して通話するときに、相手の範囲や呼び出しかなど通話内容に応じた呼出モードに切り替えて通話できます。スピーカマイクでは、設定された呼出モードスイッチ（A：一斉呼出、C：指令局呼出、1～13：グループ呼出など）に合わせます。

IPマイクでは、**[Mode]**を押して設定された呼出モード（一斉→強制一斉→G→強制G→個別→指令局→地域→近隣→一斉）を順に切り替えます。また、端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、スピーカマイクと同様に端末本体（IP無線機）の呼出モードスイッチを利用することができます。呼出モードスイッチを（S：設定モード）に合わせると、設定モードを使用することができます。（→P.44）

呼出モード (通話モード)	IPマイク表示 (呼出モード スイッチ) ※1	説明
一斉呼出	一斉 (A)	相手の番号を指定せず、発信可能なIP無線機に対して一斉発信します。 移動局が呼出モードスイッチAで発信すると通常の一斉になります。
強制一斉呼出 ※2	強制一斉 (A)	相手の番号を指定せず、発信可能なIP無線機に対して一斉発信します。 相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。 指令局が呼出モードスイッチAで発信すると強制一斉になります。 先に強制一斉で通話中の場合には発信できません。
グループ呼出	G (1～13)	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。 発信相手には指令局も含まれます。

呼出モード (通話モード)	IP マイク表示 (呼出モード スイッチ) ※1	説明
強制 グループ 呼出 ※2	強制 G (1 ~ 13)	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。発信相手には指令局も含まれます。 先に強制一斉で通話中の場合には発信できません。
個別呼出	個別 (-)	相手の番号を指定し、発信します。
指令局呼出	指令局 (C)	指令局の番号を指定し、発信します。 端末本体 (IP無線機) の呼出モードスイッチ使用時には、指令局番号の指定はできません。
地域呼出 ※2、※3	地域 (1 ~ 13)	地域番号を指定し、その地域にある IP 無線機に対して発信します。 発信相手には指令局も含まれます。
近隣呼出 ※2、※3	近隣 (1 ~ 13)	発信元の周辺にある IP 無線機に対して発信します。 発信相手には指令局も含まれます。

※1: 端末本体 (IP 無線機) での呼出モードスイッチの位置となります。

(-) は、呼出モードスイッチで対応していないことを表しています。

※2: 初期設定では IP マイクに表示されません。

※3: オプションサービス加入時に利用可能となります。

端末本体（IP無線機）の通知音

発信、着信、通話の際には、次のような通知音が鳴ります。

通知音	状態	説明
ブッ	プレストークスイッチ押下	通話時のプレストークスイッチ音
ブッ	指令局呼出發信	指令局呼出の開始
ピロッ	個別呼出發信	個別呼出の開始
ピー	一斉、強制一斉呼出發信	一斉、強制一斉呼出の開始
ピロピロッ	グループ、強制グループ呼出發信	グループ、強制グループ呼出の開始
ピ・ロ	地域呼出發信 ※ ¹	地域呼出の開始
ピロピ	近隣呼出發信 ※ ¹	近隣呼出の開始
ブブブ	グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出（RBT有）着信	グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出（RBT有）の着信
ブー	一斉、強制一斉呼出（RBT有）着信	一斉、強制一斉呼出（RBT有）の着信
ブッ	呼出着信	呼出の着信
	接続完了、通話開始	プレストークスイッチが押され、接続を完了

通知音	状態	説明
ブブ	連続通話タイムアウト機能予鈴	連続通話タイムアウトタイムが動作開始まで残り 10 秒
ブー	連続通話タイムアウト機能動作時	連続通話タイムアウトタイムが動作して通話がオフに
ブー	終話 ※ ²	終話
ブブー	発信失敗	相手先話中などによる発信失敗
ブーッ ブーッ	不在着信通知	着信を受けて通話を開始しなかったときの通知（通知時間 10 分／無制限）
ピーポー ピーポー ピーポー	メッセージ着信 ※ ³	メッセージ受信

※¹：オプションサービス加入時に利用可能となります。

※²：終話音の鳴動はあり／なしを設定できます。

※³：IPマイク使用時に有効となります。

発信／着信の動作

- 本装置は、相手呼出中は「プッッ…」などの呼出発信通知音が鳴り、相手と接続が完了した際には、「プッ」という音で通話開始のタイミングを通知します。この音を待ってから通話を開始することで、通話の頭が途切れることを防止できます。
- RBT（リングバックトーン）呼出の場合は、着信時においても「プブ…」などの呼出着信音が鳴ります。着信しているいずれかのIP無線機がプレストークスイッチを押すと通話できるようになります。この際も通話開始タイミングを知らせる通知音が「プッ」と鳴ります。RBTなしの呼出の場合は、いずれかのIP無線機と通信が確立された際、自動的に通話ができるようになります。
- 連続通話時間は最大5分です。5分以上経過すると自動的に切断されます。切断される10秒前に通知音でお知らせします。
- 無通話状態が続いた場合、設定された時間が経過すると、自動的に切断されます。初期設定は10秒です。

！ ご注意

- 発信時は、マイクに口を近づけ、約5cmのところでお話しください。あまり近づけて話をする、発信音声が歪むことがあります。
- プレストークスイッチを押してから間を空けずに通話を開始すると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合は、プレストークスイッチを押してから一呼吸おいて通話を開始してください。
- 音声着信が可能な状態で、操作中に着信があると、操作は中断され着信状態となります。
- カールコードを持ってマイクを振り回したりカールコードを引っ張ると、断線の原因となりますのでご注意ください。

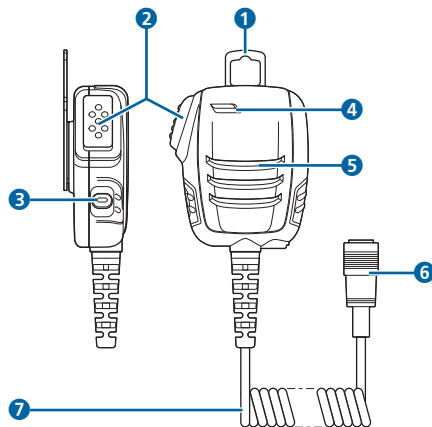
2

基礎知識／基本操作

3 スピーカマイクの利用

スピーカマイクの各部の名称とはたらき	24
スピーカマイクの基本操作.....	24
呼び出して通話する	25
着信に応答して通話する.....	25
通話音声を録音／再生する.....	26

スピーカマイクの各部の名称とはたらき



	名称	機能
①	マイクの掛け金具	設置したマイク掛けフックに掛ける
②	プレストークスイッチ	押下時に呼出、音声発信、個別切替が可能
③	F ボタン	押下時に終話、発信キャンセル、個別切替が可能
④	マイク	発話音声の入力

	名称	機能
⑤	スピーカ	着信音などのブザー音、受話音声を出力
⑥	コネクタ接続部	IP無線機のマイクコネクタに接続
⑦	コールコード	IP無線機との接続ケーブル コード有効伸長：約 1.5m

スピーカマイクの基本操作

スピーカマイクは、端末本体（IP無線機）に接続し、端末本体（IP無線機）の電源を入れると利用できるようになります。スピーカマイクでの通話に関する機能設定や呼出モードの設定などは、あらかじめ販売代理店などで設定されます。設定の内容により本書で記載している操作に対応しない場合があります。

スピーカマイクを接続して行う基本的な無線通信では、「個別呼出」以外の一斉呼出やグループ呼出などで複数の相手先を呼び出します。

呼び出して通話する

- 1 端末本体（IP無線機）の呼出モードスイッチを回して呼出モード（→P.18）を選択する
- 2 スピーカマイクのプレストークスイッチを押す
接続完了後、プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。
- 3 終話するときには、Fボタンを押す

お知らせ

- 1つのIP無線機のみ登録されているグループ番号を選択することで、指令局からのグループ呼出では個別に通話を行うことができます。ただし、グループ通話としての動作となり、不在着信は表示されません。

着信に应答して通話する

着信があり、回線が接続されると、通話ができるようになります。

- 1 プレストークスイッチを押しながら話す
プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。
- 2 発信者が終話操作をすると通話終了
 - 端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、着信側でFボタンを押して通話を終了することができます。

着信を個別通話に切り替える

端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、「個別呼出」以外の着信に应答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。

- 1 グループ通話中などにFボタンまたはプレストークスイッチを押す
発信者との個別通話に切り替わります。

不在着信を確認する

端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、指令局／移動局からの個別呼出に対して通話を開始しないと、不在着信が通知されます。

最後の不在着信から10分間は「ピーッピーッ…」という通知音が鳴り、端末本体（IP無線機）の状態LEDが白点滅します。

通知音は、プレストークスイッチを押すと停止できます。

通話音声を録音／再生する

スピーカマイクでの通話時に録音された相手の音声を再生できます。通話中は相手の声が常に録音されています。

- 音声は4秒間ごとに48回、最大192秒間録音されます。192秒を超える場合は古いものから消去されます。

録音を再生する

1 端末本体（IP無線機）の呼出モードスイッチを「13」の位置に合わせる

2 Fボタンを押す

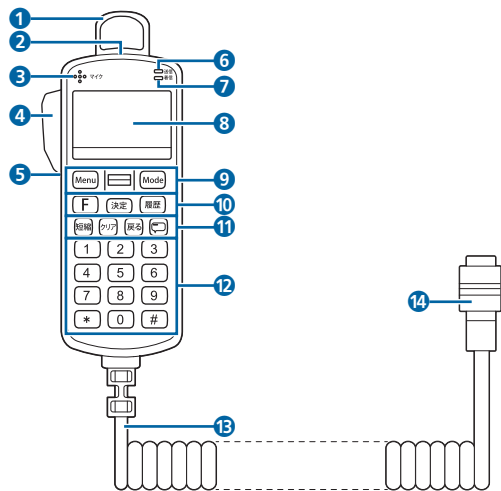
- 短押し：録音された最新の音声を4秒間再生します。再生中に再度Fボタンを押すと、さらに4秒前の音声を再生します（最大で48回：192秒）。
- 長押し：録音されている一番古い音声から再生します。

3 再生を停止するにはプレストークスイッチを押す

4 IPマイクの利用

IPマイクの各部の名称とはたらき	28
IPマイクの基本操作	29
呼び出して通話する	30
着信に応答して通話する	34
非常送信機能 (RED ALERT) を利用する	36
受信メッセージを表示する	37
IPマイクのメニューを操作する	38

IPマイクの各部の名称とはたらき



名称	機能
① マイクの掛け金具	設置したマイク掛けフックに掛ける
② 非常スイッチ	非常送信 (RED ALERT) 時に使用
③ マイク	発話音声の入力
④ プレストークスイッチ	押下時に呼出、音声発信、個別切替が可能
⑤ スピーカ(背面)	着信音などのブザー音、受話音声を出力

名称	機能
⑥ 送信 LED	プレストークスイッチを押して発信状態になると赤色に点灯
⑦ 着信 LED	着信時に緑色に点灯
⑧ 液晶表示部	情報表示
⑨ Menu ボタン Menu / スク ロールボタン Mode ボタン Mode ボタン	Menu ボタン (Menu) : メニューを表示 スクロールボタン (≡) : 上下に動かして画面表示のカーソルを移動 Mode ボタン (Mode) : 呼出モードを選択、終話、発信キャンセル
⑩ F ボタン 決定 履歴ボタン	F ボタン (F) : 終話、発信キャンセル、個別切替 決定ボタン (決定) : 画面表示項目を選択/決定 履歴ボタン (履歴) : 発信/着信履歴を表示
⑪ 短縮ボタン クリアボタン 戻るボタン メッセージボタン	短縮ボタン (短縮) : 発信先をショートカット登録 (3秒以上長押し)、ショートカットを呼び出し クリアボタン (クリア) : ショートカットを削除 (3秒以上長押し) 戻るボタン (戻る) : 前の画面や待受画面へ戻る メッセージボタン (☺) : メッセージを表示
⑫ テンキー	数字入力
⑬ カールコード	端末本体 (IP 無線機) との接続ケーブルコード有効伸長 : 約 1.5m
⑭ コネクタ接続部	端末本体 (IP 無線機) のマイクコネクタに接続

IPマイクの基本操作

IPマイクは、端末本体（IP無線機）に接続し、端末本体（IP無線機）の電源を入れると利用できるようになります。約50秒後に表示される待受画面から始めます。

IPマイクに関する機能設定や呼出モードの設定などは、あらかじめ販売代理店などで設定されます。設定内容により本書で記載している項目の表示や操作に対応しない場合があります。

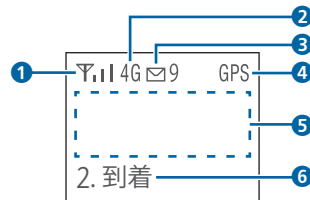
お知らせ

- 電源を入れたときに待受画面が表示されず、次のように表示された場合はそれぞれの対処を行ってください。

画面表示	対処
USIMが認識できません USIMを確認してください	端末本体（IP無線機）にUSIMカードが挿入されているか、もしくは正しいUSIMカードが挿入されているか確認してください。
無線機の設定がされていない可能性があります	端末本体（IP無線機）の設定が初期状態（工場出荷状態）の可能性があります。端末本体（IP無線機）の各種設定を販売代理店などで行ってください。
電波の弱い所にいます 車を移動して下さい	電波状態の良い場所へ移動してください。

待受画面

IPマイクの主な操作は「待受画面」から行います。



番号	項目	説明
①	電波状態	電波の強さを表示
②	通信方式	4G (AXGP / FDD-LTE)
③	受信メッセージ	メッセージ受信の通知、未読メッセージ数を表示
④	GPS	GPS 受信中 受信していない場合は非表示
⑤	待受表示	待受設定（→ P.32）で設定された内容（最終通話 / 発信履歴 / 着信履歴 / デフォルト）を表示
⑥	状態表示	状態設定（→ P.38）で設定した状態（移動中 / 到着 / 荷降りし中 / 積荷中 / 渋滞 / 回送 / 貸切 / 休憩 / 帰社 / 登録解除など）を表示

■ 画面の操作

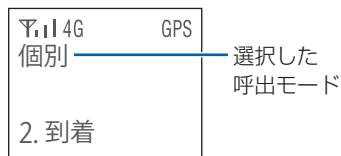
画面の操作はIPマイクの各ボタンを使って行います。「IPマイクの各部の名称とはたらき」(→P.28)をご参照ください。

[Menu]を押してメニューを表示した場合は、[≡]を上下に動かして項目を選択してから[決定]を押します。

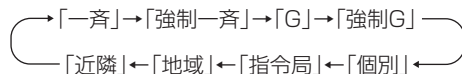
呼び出して通話する

待受画面から発信する

1 待受画面で[Mode]を押して呼出モードを選択



[Mode]を押すたびに呼出モードが次の順で切り替わります。



- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順3(→P.31)に進みます。

2 番号を入力

- グループ、強制グループ呼出の場合は3桁の番号、個別呼出の場合は4桁の番号、指令局、地域呼出の場合は2桁の番号を入力します。



<例：グループ呼出>



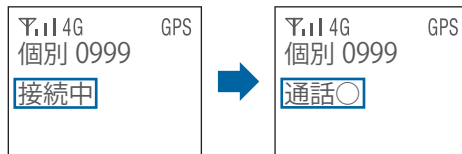
<例：個別呼出>

- 呼出モードによっては番号を入力しないものもあります。

呼出モード	画面表示	番号の桁数 (利用範囲)
一斉呼出	一斉	—
強制一斉呼出	強制一斉	—
グループ呼出	G	3桁(001～200)
強制グループ呼出	強制G	3桁(001～200)
個別呼出	個別	4桁 (0001～9999)
指令局呼出	指令局	2桁(01～15)
地域呼出	地域	2桁(01～08)
近隣呼出 (移動局のみ)	近隣	—

3 プレストークスイッチを押す

画面に「接続中」→「通話○」と表示されると接続が完了して通話ができるようになります。プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。



4 終話するときは **F** または **Mode**

待受画面へ戻ります。

お知らせ

- 呼出モードで「個別」を選択して番号を入力した場合、番号帳に登録されている番号を入力すると名称も表示されます。
- 発信中に **F** または **Mode** を押すと、発信をキャンセルして発信前の画面に戻ります。
- グループ、強制グループ呼出では999まで、地域呼出では99まで入力、発信できますが、利用範囲外の番号をご利用いただくことはできません。
- バージョンが異なるIP無線機間では、正常に接続できない場合があります。端末本体 (IP無線機) とIPマイクのソフトウェアは必ず最新バージョンでご利用ください。
- 端末本体 (IP無線機) の呼出モードスイッチの利用が可能な場合、画面には「モードスイッチ利用」と表示されます。なお、メッセージ受信機能、非常送信機能は利用可能です。

- 各呼出モード(一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣)の「RBT」が設定されている場合は、呼出対象はRBT呼出対象となります。
- IP無線機が属していないグループへの発信を規制することができます。ただし、地域、近隣呼出や、IPマイクでグループ情報を一度も取得していない場合は発信規制されません。また、IP無線機位置情報サービス画面でグループ情報を変更した場合、IPマイクでグループ情報を取得しなければ、最新グループ情報での発信規制はされません。発信できない場合は、画面に「利用できない呼出モードです」と表示されます。
- グループへの発信を規制している場合、端末本体 (IP無線機) の電源起動時に、グループ情報を取得できるまではグループ呼出ができません。

■ 呼出モード選択時の初期値 (待受設定)

呼出モード選択時の初期値は待受設定と連動して表示されます。

待受設定	モード選択時の初期値
最終通話	最後に通話した相手の呼出モードと番号
発信履歴	発信履歴の最新の呼出モードと番号
着信履歴	着信履歴の最新の呼出モードと番号
デフォルト	デフォルト相手先設定で指定した呼出モードと番号

相手局番号が表示されている状態で、プレストークスイッチを押して発信できます。

相手局番号が表示されている状態でテンキーを押すと、呼出モードはそのまま新しい番号を設定することができます。

[Mode]を押すと次の呼出モードに移行できます。

■ 呼出に失敗した場合

呼出に失敗すると、画面に「通話×」と失敗理由が表示されます。

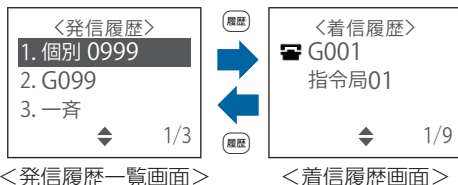
[F]または[戻る]を押すと、待受画面へ戻ります。

画面表示	失敗理由
接続失敗	接続がタイムアウト
呼出先通話中	相手先が通話中
呼出先誤り	存在しないG (グループ) の呼出/ 自分への呼出

通話履歴から呼び出して通話する

IPマイクに保存される発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大9件です。

1 待受画面で^{履歴}



発信履歴一覧画面が表示されます。もう一度^{履歴}を押すと、着信履歴画面が表示されます。

☎：着信時に通話した履歴

☎：着信時に通話しなかった履歴

- 番号帳に登録されている場合は名称が表示されます。

2 で発信する履歴を選択→プレストークスイッチを押す

発信画面が表示され、呼び出して通話できます。

お知らせ

- 同じ移動局へ発信／着信した履歴は、上書きして表示されません。
- 発信に失敗した場合も発信履歴に表示されます。
- 設定された呼出モード以外を履歴から選択した場合は、画面に「利用できない呼出モードです」と表示されます。

番号帳から呼び出して通話する

設定された情報に基づき、最大50件まで番号帳の名称として画面に表示できます。

番号帳から相手を呼び出して発信することができます。

1 待受画面で

番号帳が表示されます。



2 で発信先を選択→プレストークスイッチを押す

発信画面が表示され、呼び出して通話できます。

ショートカットから呼び出して通話する

■ ショートカットの登録

発信履歴や番号帳画面などから相手を選んでショートカットに登録すると、待受画面から簡単に呼び出すことができます。ショートカットは最大9件まで登録できます。

相手は、以下の画面から選択できます。

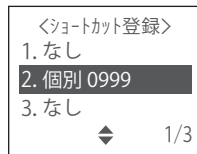
- 呼出モードの切り替えで相手を設定 (→P.31) した画面
- 発信履歴一覧画面
- 着信履歴画面
- 番号帳画面

1 相手を選択→を3秒以上長押し

ショートカット登録画面が表示されます。

2 で登録先を選択→

選択した場所にショートカットが登録されます。



ショートカットからの発信

1 待受画面で^{短縮}

ショートカット送信画面が表示されます。

2 で送信先を選択→プレストークスイッチを押す

発信画面が表示され、呼び出して通話できます。

ショートカットの削除

1 待受画面で^{短縮}

ショートカット送信画面が表示されます。

2 で送信先を選択→を3秒以上長押し

選択したショートカットが削除されます。

！ ご注意

- 削除の際に確認メッセージは表示されませんのでご注意ください。
- 一度削除されたショートカットは元に戻すことはできません。

着信に应答して通話する

1 着信

端末本体（IP無線機）のLED（大）が点滅し、点灯に変わるとIPマイクに着信画面が表示されます。



<個別呼出の着信画面>





<個別呼出以外の着信画面>

2 プレストークスイッチを押しながら話す

プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。

3 発信者が終話操作をすると通話終了

- 端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、着信側で  または  を押して通話を終了することができます。

お知らせ

- 発信元番号が番号帳に登録されている場合は名称が表示されます。
- 個別呼出以外（一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、地域、近隣呼出）の着信画面では、着信画面の最下行に呼出を行った発信者の番号が表示され、着信側で応答操作を行うと、応答した通話者を表示します。
- 着信時に発信元が特定できなかった場合、発信元番号が表示されないことがあります。
- 音声着信が可能な状態で、IPマイク操作中に音声着信があると、操作は中断され着信状態になります。

着信を個別通話に切り替える

端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、個別呼出以外の着信に回答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。

1 通話中画面で **F** または **Mode**、あるいはプレス トークスイッチを押す

発信者との個別通話に切り替わります。

通話から抜ける

端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、一斉、強制一斉、グループ、強制グループ通話を行っているときに通話から抜ける（離脱）ことができます。

1 通話中画面で **Menu**

待受画面へ戻ります。

！ ご注意

- この機能は、地域、近隣呼出には対応していません。
- 発信者が通話離脱した場合、「無通話タイムアウト」または「連続通話タイムアウト」でのみ終話できます。

不在着信を確認する

端末本体（IP無線機）の設定内容によっては、指令局／移動局からの個別呼出に対して通話を開始しないと、不在着信通知が表示されます。

最後の不在着信から10分間は「ピーッピーッ…」という通知音が鳴り、端末本体（IP無線機）の状態LEDが白点滅します。通知音は、IPマイクで何らかの操作をすると停止できます。



お知らせ

- 着信時に発信元が特定できなかった場合は、発信元番号が空白で表示されることがあります。

非常送信機能（RED ALERT）を利用する

非常時、IP無線機位置情報サービスに非常状態を通知することができます。通知された非常状態はWeb画面上で確認できます。通知を行った場合、位置情報サービスにて指令局または指定した移動局で端末本体（IP無線機）の音声のモニタリングができるようになります。

- 非常送信機能（RED ALERT）を利用するには、別途オプションサービスへの加入が必要です。

RED ALERTを起動する

1 非常スイッチを3秒以上長押し

画面上に「★」が表示され、非常状態を通知します。



お知らせ

- 非常状態ではなくなった場合は、必ず解除操作を行ってください。
- 音声をモニタリングされている端末でFキーを押すか、5分を経過すると音声のモニタリングは終了します。

RED ALERTを解除する

1 非常スイッチを3秒以上長押し

RED ALERTが解除されます。

- 本装置の電源を切っても解除できます。

受信メッセージを表示する

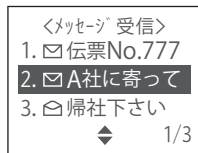
IPマイクでは、メッセージの送信可能な端末またはIP無線機位置情報サービスから送られたメッセージを受信して表示できます。メッセージは最大9件まで保存されます。10件目を受信すると、未開封のものも含め古いものから削除されます。

メッセージは1件につき最大全角162文字（半角324文字）まで表示できます。

1 待受画面で

受信メッセージ一覧画面が表示されます。

- ☑: 未開封メッセージ
- ☐: 開封済みメッセージ



2 でメッセージを選択→ 決定

メッセージの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信したメッセージは本装置の電源を切っても保持されません。
- 圏外の場合にいるときや本装置の電源を切っているときは、メッセージを受信できません。
- 本装置ではメッセージの送信は行えません。

受信メッセージの削除

1 待受画面で

受信メッセージ一覧画面が表示されます。

2 でメッセージを選択→ を3秒以上長押し

選択したメッセージが削除されます。メッセージが削除されると下位のメッセージが繰り上げ表示されます。

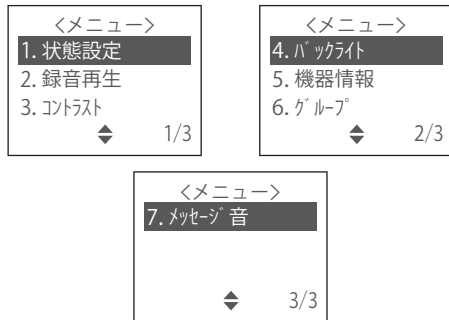
！ ご注意

- 削除の際に確認メッセージは表示されませんのでご注意ください。
- 一度削除された受信メッセージは元に戻すことはできません。

IPマイクのメニューを操作する

1 待受画面で Menu

メニュー画面が表示されます。



2 で項目を選択 → 決定

各項目の設定画面が表示されます。

- テンキーで「1」～「7」を押しても項目を選択できます。

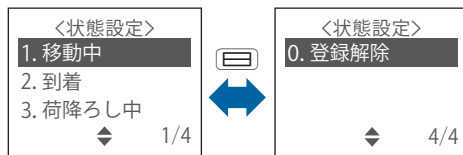
状態設定

使用している移動局側の状態をIP無線機位置情報サービスに通知することができます。IPマイクの待受画面にも表示されます。

1 待受画面で Menu → で [1.状態設定] を選択

→  決定

状態設定項目が表示されます。



2 で項目を選択 → 決定

「0.登録解除」を選択すると、表示されていた状態が解除されて消えます。

録音再生

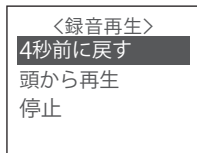
IPマイクでの通話時に録音された相手の音声を再生します。通話中は相手の声が常に録音されています。

- 音声は4秒間ごとに48回、最大192秒間録音されます。192秒を超える場合は古いものから消去されます。

1 待受画面で → で【2.録音再生】を選択

→ 

再生方法が表示されます。



2 で項目を選択 →

選択した動作が行われます。

項目	説明
4秒前に戻す	録音された最新の音声を4秒間再生再生中に再度「4秒前に戻す」を選択すると、さらに4秒前の音声を再生（最大で48回：192秒）
頭から再生	録音されている一番古い音声から再生
停止	再生を停止

お知らせ

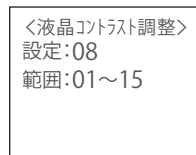
- 端末本体（IP無線機）の呼出モードスイッチを使用する場合は、呼出モードスイッチを「13」に合わせ、**[F]**または**[Mode]**を押すと、スピーカマイク接続時と同様に録音された音声を再生できます。

液晶コントラスト調整

IPマイクの液晶画面のコントラストを調整します。

1 待受画面で → で【3.コントラスト】を選択 →

液晶コントラストの設定値が表示されます。



2 で「設定」の数値を選択 →

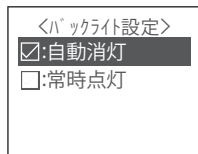
設定値が保存され、待受画面へ戻ります。

バックライト

液晶画面のバックライトの点灯モードを設定します。
初期値は「自動消灯」です。

1 待受画面で → で【4.バックライト】を選択 →

バックライト設定項目が表示されます。



2 で項目を選択 →

設定が保存され、待受画面へ戻ります。

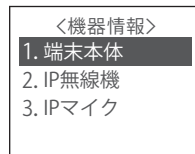
項目	説明
自動消灯	最後の操作から 30 秒後に自動的に消灯
常時点灯	常時点灯

機器情報

端末本体（IP無線機）、IPマイクの各種情報を表示します。

1 待受画面で → で【5.機器情報】を選択 →

機器情報項目が表示されます。



2 で項目を選択 →

選択した機器情報が表示されます。

項目	説明
端末本体	端末本体 (IP 無線機) の情報を表示 情報取得中は、画面右下に「取得中」を点滅表示
IP 無線機	IP 無線機能の情報を表示
IP マイク	IP マイクのソフトウェアのバージョンを表示

グループ

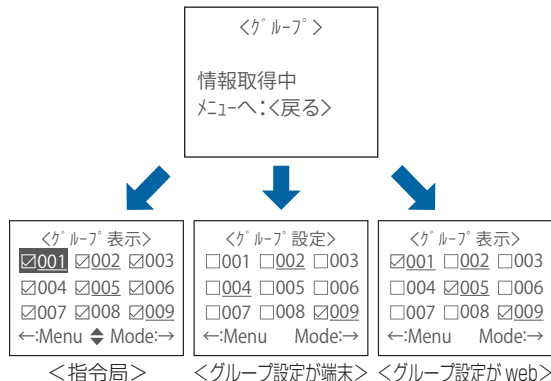
■ 所属するグループを確認する

グループ情報を取得して表示します。「指令局」の場合はすべてのグループに、移動局で「グループ設定が端末」の場合はIPマイクで設定したグループに、「グループ設定がweb」の場合はIP無線機位置情報サービスで指定したグループに✓がつきます。

1 待受画面で → で【6.グループ】を選択

→ 

グループの一覧が表示されます。



: 自分が所属していないグループ

✓ : 自分が所属しているグループ

000 : 誰も所属していないグループ

000 : 誰かが所属しているグループ

！ ご注意

- ご利用の環境によっては、正しいグループ情報が取得できない場合や、グループ情報取得が完了しない場合があります。
- 指令局の場合は、グループを変更することはできません。

■ 所属するグループ番号を変える

「グループ設定が端末」の場合は、所属するグループを変更することができます。

- グループ設定をIPマイクで行うには、お申し込み時、グループ管理に「端末」を設定されている必要があります。

1 待受画面で **Menu** → で **【6.グループ】** を選択

→ **決定**

グループの一覧が表示されます。

- **Mode** を押すと、グループ番号の続きを「200」まで若い番号順に表示します。
- **Menu** を押すと、グループ番号の「200」から逆番号順に表示します。
- テンキーでグループ番号を入力して直接表示することができます。

2 で所属したいグループを選択 → **決定**

変更されると「成功」と表示されます。

- 所属できるグループは1つです。変更前に複数のグループに設定されていた場合は、変更したグループ番号だけになり、その他のグループ設定は解除されます。
- IPマイクの設定内容によっては、登録したグループが通話中の場合、登録が成功したあとに通話に割り込むことができます。

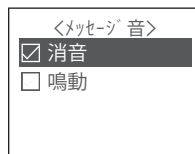
メッセージ音

メッセージを受信したときに音でお知らせするかどうかを設定します。

初期値は「鳴動」です。

1 待受画面で **Menu** → で **【7.メッセージ音】** を選択 → **決定**

メッセージ音の設定項目が表示されます。



2 で項目を選択 → **決定**

設定が保存され、待受画面へ戻ります。

お知らせ

- 通話中は、メッセージ受信音は鳴動しません。終話して2秒後に鳴動します。
- 不在着信鳴動中は、メッセージ音は鳴動しません。

5 端末の設定

設定モードを使用する	44
WebUIを使用する	46
無線機の設定を初期化する	55

設定モードを使用する

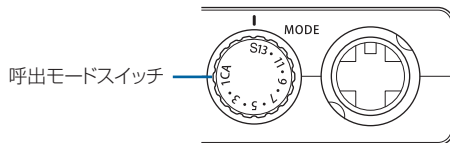
設定モードでは、端末本体（IP無線機）およびIPマイクまたはスピーカマイクの操作によって、Wi-Fi、WPS、無線機の更新、ブザー音の設定をすることができます。

お知らせ

- 設定モードでは音量スイッチを操作して設定を行います。各種設定の完了、設定モード解除後は音量スイッチを元の位置に戻し、音量を再調整してください。

設定モードにする

- 1 端末本体（IP無線機）の電源が入っていることを確認する
- 2 呼出モードスイッチを以下のように「S」に設定する



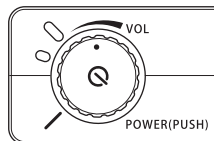
お知らせ

- 呼出モードスイッチを「S」に設定すると、IPマイクまたはスピーカマイクから音声アナウンスが流れます。
- 呼出モードスイッチを「S」以外に設定することで、設定モードを解除できます。設定モードを解除すると、IPマイクまたはスピーカマイクから音声アナウンスが流れます。
- 設定モード中はLED（大）が赤点滅し（→P.9）、IP無線機能の使用ができなくなります。

設定モード

Wi-FiをONにする

- 1 音量スイッチを以下のように最小の位置以外に設定する



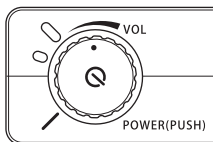
- 2 IPマイクまたはスピーカマイクのFボタンを3秒以上長押しする

お知らせ

- 設定モードでWi-FiをONにすると、IPマイクまたはスピーカマイクから音声アナウンスが流れます。
- Wi-Fi設定のモバイルホットスポットがOFFの場合、端末本体（IP無線機）の再起動後はWi-FiがOFFで起動しますのでご注意ください。
- 常時Wi-FiをONにされたい場合、Wi-Fi設定>モバイルホットスポットの設定内容をONにしてください（→P.50）。

■ WPSを利用する

- 1 端末本体（IP無線機）のWi-FiをONにする（→P.44）
- 2 音量スイッチを以下のように最小の位置以外に設定する



- 3 IPマイクまたはスピーカマイクのプレストークスイッチを3秒以上長押しする

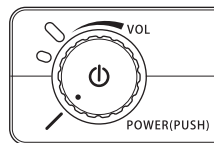
お知らせ

- WPSをONにすると、IPマイクまたはスピーカマイクから通知音が鳴ります。
- 端末本体（IP無線機）のWi-FiがONに設定されている場合のみ、WPSをONにすることができます。
- WPSをONにした後に、機器との接続が完了するか、2分間経過でWPSは自動的にOFFになります。WPSがOFFになった場合、IPマイクまたはスピーカマイクから通知音が鳴ります。
- WPSがONになっている間は、端末本体（IP無線機）前面のLED（小）はシアン点滅します（→P.10）。

■ 無線機の更新をする

端末本体（IP無線機）のソフトウェア、設定情報を最新の状態に更新することができます。また、IPマイクを接続している場合は、IPマイクのソフトウェア、設定情報も最新の状態に更新されます。

- 1 音量スイッチを以下のように最小の位置に設定する



- 2 IPマイクまたはスピーカマイクのプレストークスイッチとFボタンを同時に3秒以上長押しする

お知らせ

- 端末本体（IP無線機）の更新が実行された場合、IPマイクまたはスピーカマイクから音声アナウンスが流れ、LEDが変化し（→P.9）、更新が開始されます。
- 更新が完了した場合、IPマイクまたはスピーカマイクから音声アナウンスが流れ、端末本体（IP無線機）は自動的に再起動を開始します。
- WebUI を使用して無線機の更新をすることもできます（→P.53）。
- 設定情報の詳細はお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

■ ブザー音を設定する

- 1 音量スイッチをブザー音に設定したい位置に合わせる
- 2 IPマイクまたはスピーカマイクのプレストークスイッチを短押する

WebUIを使用する

端末本体（IP無線機）のWi-Fiに接続したパソコンなどから、Webブラウザを利用して端末本体（IP無線機）についての各種情報の確認や設定ができます。

お知らせ

- 端末本体（IP無線機）の対応ブラウザは以下の通りです。
 - Google Chrome
 - Microsoft Edge
 - Safari
- 各ブラウザの最新バージョンをお使いください。
- 本書に掲載している画面イメージは、Google Chromeでのイメージとなります。
- ご利用の環境により、若干レイアウト等が異なる場合があります。

WebUIに接続する

- 1 端末本体（IP無線機）のWi-FiをONにする（→P.44）
- 2 WebUIを使用するパソコンなどを端末本体（IP無線機）に設定されたネットワーク名（SSID名）のWi-Fiに接続する
- 3 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄にURL（web.setting:8080）を入力する

4 WebUIのログイン画面が表示される

ログインするにはユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード 非表示

ログイン

5 ユーザー名 (user) と設定されているパスワードを入力する

お知らせ

- 初回ログイン時のパスワードは4桁の数字「0000」です。
- 初回ログイン時は、ユーザー名、初期パスワードを入力後、パスワード変更画面が表示されます。
- 設定したパスワードを忘れた場合は、無線機の設定を初期化(→P.55)することで、初期パスワードにリセットすることができます。ただし、無線機能を含む端末本体 (IP無線機) の設定がすべて初期化されますので、再度無線機能を使用する場合は、無線機の更新 (→P.45) を実施し端末本体 (IP無線機) の設定情報を再設定してください。

端末情報

ログイン後はステータス→端末情報に遷移します。
端末情報では以下の内容を確認することができます。

端末情報

機種名	①	A201SJ
シリアル番号	②	XXXXXXXX
電話番号	③	XXXXXXXXXXXX
IMEI	④	XXXXXXXXXXXXXX
ソフトウェアバージョン	⑤	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ハードウェアバージョン	⑥	XXXX
Wi-Fi MAC アドレス	⑦	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
Bluetooth MAC アドレス	⑧	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
外部インターネットアクセス	⑨	XX

	項目	説明
①	機種名	機種名を表示
②	シリアル番号	シリアル番号を表示
③	電話番号	電話番号を表示
④	IMEI	IMEI を表示
⑤	ソフトウェアバージョン	ソフトウェアバージョンを表示
⑥	ハードウェアバージョン	ハードウェアバージョンを表示
⑦	Wi-Fi MAC アドレス	Wi-Fi MAC アドレスを表示
⑧	Bluetooth MAC アドレス	Bluetooth MAC アドレスを表示 ※1

	項目	説明
9	外部インターネットアクセス ※2	Wi-Fi でインターネットに接続する機能の利用有無を表示

※1：Bluetooth[®]がONの場合のみ表示されます。

※2：外部インターネットアクセスについての詳細はお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

Bluetooth[®]

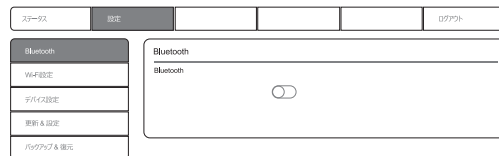
Bluetooth[®]対応のヘッドセットなどの機器と接続して利用することができます。

お知らせ

- 端末本体（IP無線機）はすべてのBluetooth[®]機器との接続・動作を保証するものではありません。
下記については、正常の動作を確認しております。ただし、そのすべての動作について保証するものではありません。
 - SoftBank SELECTION Bluetoothヘッドセット Ver.4.1（型番：TBM05SK）
 - SEECODE PTT内蔵マイクスピーカー（型番：SCP-960Plus）
 - SEECODE Remote PTT（型番：SHP-612Plus）

Bluetooth[®]機器とペアリングする

1 画面上部の【設定】を選択し、画面左の項目から【Bluetooth】を選択する



2 Bluetoothを【ON】にする

Bluetooth[®]をONにすると、検索ボタンが表示されます。

3 Bluetooth[®]機器を検索する

【検索】を選択すると、ペアリング可能な機器の検索が開始されます。

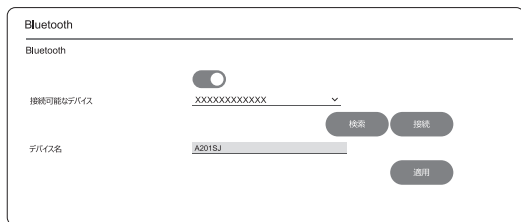


検索中画面のキャンセルボタンを選択することで、機器の検索をキャンセルすることができます。

4 ペ어링する機器を選択する

接続可能なデバイスのプルダウンリストから、ペアリングするBluetooth®機器を選択します。

再度Bluetooth®機器を検索する場合は、[検索] を選択します。

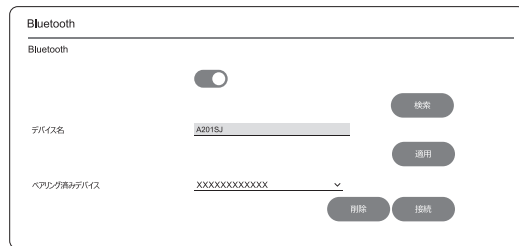


5 [接続] を選択する

プルダウンリストで選択したBluetooth®機器とペアリングを開始します。

■ ペ어링済みのBluetooth®機器と接続する
端末本体（IP無線機）とBluetooth®機器が既にペアリングされている場合、ペアリング済みデバイスにプルダウンリストで接続可能な機器が表示されます。

1 ペ어링済みデバイスのプルダウンリストから接続するBluetooth®機器を選択する



2 [接続] を選択する

プルダウンリストで選択したBluetooth®機器との接続を開始します。

Bluetooth[®]のデバイス名を変更する

他の機器に表示される端末本体（IP無線機）のBluetooth[®]デバイス名の変更をすることができます。

- 1 Bluetooth[®]を[ON]にする
- 2 デバイス名に名前を入力し、[適用]を選択する

Bluetooth[®]機器のペアリング情報を削除する

端末本体（IP無線機）と既にペアリングされているBluetooth[®]機器のペアリング情報を削除することができます。ペアリング情報を削除すると、ペアリング済みデバイス一覧に機器名称が表示されなくなります。

- 1 「ペアリング済みデバイス」または「現在接続済み」の[削除]を選択する

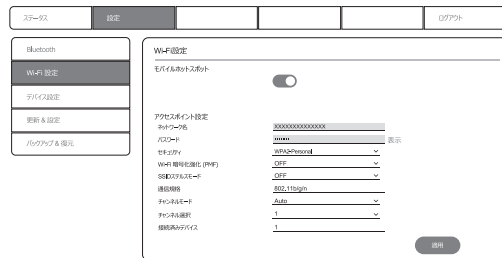
👉 お知らせ

- ペアリング情報を削除した Bluetooth[®] 機器を接続する場合は、再度ペアリングをする必要があります（→P.48）。

Wi-Fi設定

Wi-Fiを利用する

- 1 画面上部の【設定】を選択し、画面左の項目から【Wi-Fi設定】を選択する



- 2 モバイルホットスポットを [ON] にする

👉 お知らせ

- モバイルホットスポットを OFF に設定すると、端末本体（IP無線機）の再起動後に Wi-Fi が OFF で起動します。

Wi-Fiの設定をする

アクセスポイント設定で、Wi-Fiの各種設定をすることができます。右下の[適用]を選択することで設定が反映されません。

アクセスポイント設定

ネットワーク名	1	XXXXXXXXXXXXXXXX	
パスワード	2	表示
セキュリティ	3	WPA2-Personal	▼
Wi-Fi 暗号化強化 (PMF)	4	OFF	▼
SSIDステルスモード	5	OFF	▼
通信規格	6	802.11b/g/n	
チャンネルモード	7	Auto	▼
チャンネル選択	8	1	▼
接続済みデバイス	9	1	

	項目	説明
1	ネットワーク名	端末本体(IP無線機)のSSID名を表示 任意のSSID名に変更が可能 最大 32 文字の半角英数字・記号(~ ! @ # \$ % ^ & * () _ + = } [] < > ? . /) を入力可能

	項目	説明
2	パスワード	Wi-Fi 接続時のパスワードを変更 セキュリティを「Open」以外に選択しているときに設定可能 8 文字以上 63 文字以下の半角英数字・記号(~ ! @ # \$ % ^ & * () _ + = } [] < > ? . /) を入力可能
3	セキュリティ	セキュリティの種類を設定「Open」、 「WPA2-Personal」、 「WPA2-Personal and WPA3-Personal」から設定可能 (初期値: WPA2-Personal and WPA3-Personal)
4	Wi-Fi 暗号化強化 (PMF)	セキュリティを「WPA2-Personal」に設定した場合に項目が表示され、設定が可能 (初期値: ON) ※1
5	SSID ステルスモード	端末本体 (IP無線機) のネットワーク名 (SSID名) を通知しないようにするかどうかを設定 (初期値: OFF)
6	通信規格	端末本体 (IP無線機) の Wi-Fi 通信規格を表示

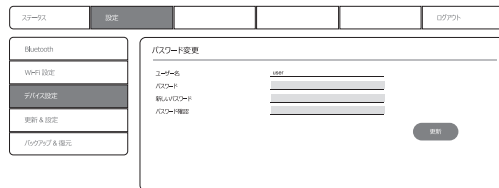
	項目	説明
7	チャンネルモード	チャンネルを自動選択するかどうかを設定(初期値:Auto)
8	チャンネル選択	チャンネルモードを「Manual」に選択しているときに項目が表示され、1~13まで設定可能
9	接続済みデバイス	端末本体 (IP 無線機) の Wi-Fi に接続している台数を表示

※1：セキュリティが「Open」の場合は「OFF」、[WPA2-Personal and WPA3-Personal]の場合は「ON」に設定され、設定項目は非表示となります。

デバイス設定

WebUI ログイン時に入力するパスワードの変更ができません。

1 画面上部の【設定】を選択し、画面左の項目から【デバイス設定】を選択する



2 パスワード入力欄に、現在設定されているパスワードを入力する

3 新しいパスワードを入力し、パスワード確認にもう一度新しいパスワードを入力する

4 【更新】を選択する

更新&設定

端末本体（IP無線機）の更新と設定初期化ボタンのON/OFFを設定することができます。

1 画面上部の【設定】を選択し、画面左の項目から【更新&設定】を選択する



■ 無線機の更新をする

端末本体（IP無線機）のソフトウェア、設定情報を最新の状態に更新することができます。また、IPマイクを接続している場合は、IPマイクのソフトウェア、設定情報も最新の状態に更新されます。

1 無線機の更新の【実行】を選択する

📢お知らせ

- WebUIの操作で無線機の更新が実行された場合、端末本体（IP無線機）のLEDが変化し（→P.9）、更新が開始されます。
- 無線機の更新中は、WebUIの画面操作ができなくなります。WebUIを使用する場合は、無線機の更新終了後に端末本体（IP無線機）のWi-Fiに接続し再度アクセスをしてください。

- 更新が完了した場合、端末本体（IP無線機）は自動的に再起動を開始します。
- 無線機の更新は、設定モードでも実行することができます（→P.45）。
- 設定情報の詳細はお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

■ 設定初期化ボタンを利用する

端末本体（IP無線機）の背面にある設定初期化ボタンのON/OFFを設定することができます。

1 設定初期化ボタンを【ON】にする

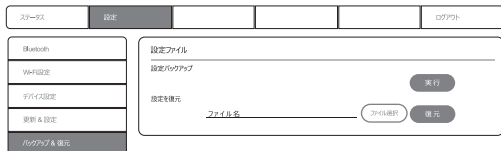
📢お知らせ

- 設定初期化ボタンをOFFに設定すると、端末本体（IP無線機）背面の設定初期化ボタンを長押ししても設定初期化が実行されなくなります（→P.55）。

バックアップ&復元

端末本体（IP無線機）のバックアップファイルを作成し、WebUIにアクセスしているパソコンなどに保存することができます。また、保存したバックアップファイルの設定を端末本体（IP無線機）に復元することができます。

1 画面上部の【設定】を選択し、画面左の項目から【バックアップ&復元】を選択する



■ 設定バックアップをする

1 設定バックアップの【実行】を選択する

端末本体（IP無線機）のバックアップファイルの作成が開始されます。バックアップファイル作成後はファイルの保存先選択画面が表示され、任意のフォルダに保存することができます。

🔔 お知らせ

- バックアップファイルのファイル名は「WebUI.dat」です。バックアップファイルの拡張子は「.dat」で保存をしてください。

■ 設定を復元する

1 【ファイル選択】を選択する

端末本体（IP無線機）に復元するバックアップファイルを選択します。

2 【復元】を選択する

端末本体（IP無線機）が自動的に再起動し、バックアップファイルの設定が反映されます。

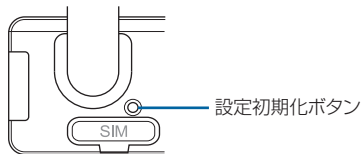
🔔 お知らせ

- 設定バックアップ（→ P.54）で保存した DAT ファイルを利用して端末本体（IP無線機）の設定を復元することができます。
- 設定の復元が成功した場合、端末本体（IP無線機）は自動的に再起動を開始します。

無線機の設定を初期化する

端末本体（IP無線機）背面にある、設定初期化ボタンを長押しすることにより、端末本体（IP無線機）の設定が初期化されます。

1 端末本体（IP無線機）の背面にある設定初期化ボタンを10秒以上長押しする



お知らせ

- 設定の初期化が実行された場合、IP マイクまたはスピーカマイクから音声アナウンスが流れ、端末本体（IP無線機）が再起動されます。
- WebUIを使用して端末本体（IP無線機）の背面にある設定初期化ボタンのON / OFF を設定することができます（→ P.53）。設定初期化ボタンをOFFに設定した場合、端末本体（IP無線機）背面の設定初期化ボタンを長押ししても設定の初期化は開始されません。
- 設定初期化ボタンによって設定が初期化されるのは、端末本体（IP無線機）の設定情報のみとなります。オプション品（IPマイクなど）を接続した状態で端末本体（IP無線機）の設定を初期化しても、オプション品の設定は初期化されません。
- 端末本体（IP無線機）に保存されたWi-Fi設定やBluetooth®のペアリング情報なども初期化されます。再度Wi-Fi、Bluetooth®などの機器を使用する場合は、端末本体（IP無線機）のWebUIや接続する機器で設定を行ってください。

6 困ったときは

トラブルシューティング.....	58
仕様.....	59
端末本体（IP無線機）の比吸収率（SAR）について.....	61
保証とアフターサービス.....	62
お問い合わせ先.....	63
索引.....	65

トラブルシューティング

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

■ 電源が入らない

- 端末本体（IP無線機）の電源スイッチを押していますか（→P.17）。
- ACCケーブルは車両のACC端子に接続されていますか（→P.5）。
- 電源ケーブルは接続されていますか（→P.5）。
- 車両のバッテリー電圧が異常（10.8V以下または29.04V以上）ではありませんか。バッテリー交換を行ってください。

■ 発信／着信しない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。
- 正しい呼出モードに設定されていますか（→P.18）。
- スピーカマイクまたはIPマイクのコールコードが外れていませんか（→P.4）。

■ こちらの声が相手に聞こえない（音声を発信できない）／相手の声が聞こえない

- スピーカマイクまたはIPマイクのコールコードが外れていませんか（→P.4）。
- プレストークスイッチを押し続けていますか。プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。
- プレストークスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。
- 音量は適切ですか（→P.8）。

■ メッセージを受信できない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。

■ GPSを受信できない

- 電波の弱い場所や屋内、圏外の場所にいませんか。電波状況がよく見晴らしのよいところに移動してください。

■ WebUIにアクセスできない

- 端末本体（IP無線機）のWi-FiはONに設定されていますか（→P.44）。
- WebUIを使用するパソコンなどは端末本体（IP無線機）のWi-Fiに接続されていますか（→P.46）。WebUIを使用する機器のWi-Fi接続方法については、使用機器に付属の取扱説明書をご参照ください。
- WebUIを使用するパソコンなどがプロキシ設定をされている場合、WebUIに接続できない場合があります。使用されるパソコンのプロキシ設定を解除するか、WebUIのURL（→P.46）を除外設定してください。

Bluetooth[®]が利用できない

- 端末本体（IP無線機）のBluetooth[®]はONに設定されていますか（→P.48）。
- 接続をする Bluetooth[®] 機器は正しく設定されていますか。
ヘッドセット機器やハンズフリー機器の使用方法については、各機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

仕様

環境仕様

動作温度	-10℃～50℃
保管温度	-20℃～60℃
湿度	30%～90%RH無結露
電源電圧	•DC12V車 10.8V～15.15V •DC24V車 23.76V～29.04V
衝撃	ピーク加速度150m/s ² 11ms JIS C 60068-2-27
振動	加速度4.5G 5～200Hz 掃引速度10min JIS D 1601D DIV200

IP無線機

形状	ユニットタイプ(車載取付可)
外形寸法（幅×高さ×奥行）	115 (W) x 25 (H) x 136 (D)
質量	295g以下
色	黒
データ通信方式	LTE
音声符号化方式	G.729 Annex A

通信形態	プレストーク方式
外部マイクインターフェース	600Ω -44dBm±3dB
外部スピーカ定格出力	8Ω 定格1W 最大2W
AVMインターフェース	1CH
GPSインターフェース	アンテナ外付け 50Ω
USBインターフェース	USB 3.0
LTEインターフェース	内蔵アンテナ、アンテナ外付け 50Ω
電源電圧	+12.0V-10% ~ DC13.8V+10%、 +26.4V±10%
消費電流	音声着信時1A以下、待機時0.5A以下
関連規格	VCCI-CISPR32 Class A
周波数範囲	<ul style="list-style-type: none"> •Band1 上り：1920 ~ 1980 MHz 下り：2110 ~ 2170 MHz •Band3 上り：1710 ~ 1785 MHz 下り：1805 ~ 1880 MHz •Band8 上り：880 ~ 915 MHz 下り：925 ~ 960 MHz •Band41 上り：2545~2595MHz 下り：2545~2595MHz

Wi-Fi	通信規格	802.11 b/g/n
	使用周波数帯	2.4GHz帯
	使用チャンネル	1-13ch
	セキュリティ	WPA2-Personal、 WPA2-Personal and WPA3-Personal、 Open
	最大同時接続数	10台
Bluetooth	通信方式	Ver.5.0
	出力	Class 1
	対応Bluetooth プロファイル	HSP、HFP、 A2DP、AVRCP、 GATT
	使用周波数帯	2.4GHz帯
技術基準適合証明	003-220141 (003-220032の認証取得内容含む)	

端末本体（IP無線機）の比吸収率（SAR）について

この製品【端末本体（IP無線機）（SJAAE1）】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※¹ ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法※³で使用した場合のSARの最大値は0.531W/kg※²です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

※1：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2：＜携帯電話サービス＞と同時に使用可能な無線機能を含みません。

※3：この製品を人体の近くでご使用になる場合
この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から1.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- 世界保健機関
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

保証とアフターサービス

保証について

本装置をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合は、お買い上げ販売代理店へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- 本装置の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本装置に登録したデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本装置を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売代理店までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

盗難に遭った場合

本装置が盗難に遭った場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（通話料無料）

平日10:00から17:00まで（年末年始を除く）

連絡していただきたい項目

- ①商品名（A201SJ 標準セット）
- ②お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ご連絡先電話番号

ご利用を停止される場合

本装置のご利用を停止される場合は、ご利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（通話料無料）

平日10:00から17:00まで（年末年始を除く）

連絡していただきたい項目

- ①商品名（A201SJ 標準セット）
- ②お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ご連絡先電話番号
- ④ご利用停止予定日

索引

英数字

IPマイク	28
機器情報	40
グループ	41
コントラスト	39
受信メッセージの表示	37
ショートカット	33
状態設定	38
着信応答	34
通話	30
通話履歴	32
バックライト	40
番号帳	33
待受画面	29
メッセージ音	42
メニュー	38
録音再生	39
RED ALERT	36
USIMカード	10
取り付け	11
取り外し	12
WebUI	46
Bluetooth®	48
Wi-Fi	50
設定初期化ボタン	53
端末情報	47
デバイス設定	52
バックアップ	54
復元	54
無線機の更新	53
あ	
アフターサービス	62

移動局	16
お問い合わせ先	63

さ

仕様	59
IP無線機	59
環境仕様	59
指令局	16
スピーカマイク	24
着信応答	25
通話	25
録音再生	26
接続	3
設定モード	44
Wi-Fi	44
WPS	45
プザー音	46
無線機の更新	45

た

端末本体 (IP無線機)	8
状態表示 (LED)	9
通知音	20
電源	17
入れる	17
切る	17
トラブルシューティング	58

は

比吸収率 (SAR)	61
非常送信機能	36
保証	62

ま

無線機の設定初期化 55

や

呼出モード 18

呼出モードスイッチ 8

A201SJ 標準セット 取扱説明書

2022 年 10月 第 1 版発行

ソフトバンク株式会社

* ご不明な点はお求めになられた
販売代理店にご相談ください。

機種名 A201SJ

製造元 西菱電機株式会社

A201SJ User Guide 取扱説明書



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札 幌 営 業 所 名 古 屋 営 業 所
- 仙 台 営 業 所 九 州 営 業 所

<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話のPHSの回収

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる通信端末・付属品類をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した通信端末・付属品類はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、端末に記憶されているお客様の情報(アドレス帳・通話履歴・メール等)は、事前に消去願います。